夕刊
新京日日新聞
定價　一ケ月　金一圓八十錢　一部　金三錢
郵税　一ケ月　金十五錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所　新京日日新聞社
電話三二〇〇・三三二五番
發行人　十河榮男
編輯人　松本豊
印刷人　谷啓二郎

邦幣との間に公定比率設定
但し實現には多大の難關
金本位への移行計畫

滿洲國財政當局においては日滿貿易關係の一大障害をなす兩國『通貨』の統一並びに安定策として國幣と日銀並びに鮮銀發行の圓紙幣との間に公定比率を設定、滿洲國幣制の金本位への移行過程となさんとする計畫は着々として進められて居るが、財政部首腦部並びに中銀當局においては、この圓金本位設定を契機として日本政府の同意を得て滿洲國内に於ける鮮銀券並びに正金銀行發行の鈔票の流通を停止、名實ともに國幣をして權威ある全滿の統一通貨たらしめんとするものであるが、多年幾多の犧牲を拂ひつゝ滿洲に於ける今日の地盤を確保せる鮮銀券及び鈔票の無條件引揚げには鮮銀、正銀當局は勿論内地財界にも相當の反對論を捲起すべく、且つ全滿各地取引所に於ける金銀取引は必然的に停止の運命に遭遇すべく全滿財界に一大波瀾を起す重大問題なるため『愼重』に研究、審議を進めて居るが、本案實施を主張する論點は左の如し

一、滿洲國に於て圓金本位を採用し、日滿通貨の公定比率を協定、兩國貨幣の單一化を實行し、日滿貿易の一大障害除去につとめんとする以上、日本政府においても滿洲中央銀行設立以來既に一ケ年を經過、基礎も確立せられたる今日滿洲國財政並びに幣制を根本的に確立せしむべく一大犧牲を拂ひ、滿洲國内より鮮銀券並びに鈔票の引揚げを斷行し國幣をして不動の地歩を保有せしむべし

一、世界經濟會議の不成功は諸列強を中心とするブロック結成の機運を促し、世界情勢の變化は日滿經濟ブロック強化の必要を必然的に高め、日滿兩國關税協定又は撤廢が叫ばれんとする情勢にあり、滿洲國財政の基礎確立のためには鮮銀券引揚げも又已むを得ずとして居るがたゞ同案の實行に當つては日本政府の同意並びに積極的支持支援が必要であり、鮮銀券並びに鈔票引揚げは在滿鮮銀及び正金支店の死活問題であるのみならず、確立された日本の滿洲に於ける金融的權益の放棄を意味し、特に多年主力を滿洲に注ぎ來つた鮮銀が約三千萬圓に上る流通券引揚げによる大打擊及び損害を如何なる形式で日本政府又は滿洲國政府に於いて補塡せんとするや

この根本的難問題があり、本案實現の前途には多大の難關が横はつて居るが、本月下旬來滿する富田大藏省理財局長の來京により具体的に進捗すべく各方面の注目を集めてゐる

生命保險の國營を斷行
本月中に公布される
保險業令の内容

滿洲國財政部に於ては保險業務の國家統制と生命保險の國營方針の下に保險業令の立案を急いで居たが、愈々原案の完成を見たので數日中に『部内』の最後的審議をなした上法制局に廻付、遲くも本月中には公布を見るものと期待されて居るが、全滿三千萬民衆の福利增進の爲生命保險國營を斷行、既設生命保險の不當なる壓迫を極力避けると共に、一般民衆の生活實狀に立脚し日本政府の簡易保險に範を執り、保險契約制限を一千圓とする無審査保險で、養老終身の二種とし、各地郵政局で保險事務取扱をなす計畫である、これと同時に保險業務の國家統制確立を期し嚴密なる監督を行ふため保險營業には財政部の認可を要し、生命保險又は損害保險にして滿洲國内に本支店又は營業所を有するものは廿萬圓の供託金を要する事となり滿鐵附屬地其他に營業所を有し勸誘員を以て保險契約をなさんとするものに對しても『國内』に營業所を有するものと看做して保險業令の適用をなし各種脱法行爲を取締らんとするところに新味を有して居り、現行全滿の生命、損害兩保險會社百余社中新保險業令の適用に從ひ供託金制度の實施により營業停止を余儀なくされる保險會社も相當多數に上る可く、保險業界に大衝動を與へて居る

滿洲の情勢推移と
―外國人記者の動向〔下〕
關東軍參謀部第四課

斯くの如く滿洲に於ける日本の產業經濟其他諸方面に對する壓倒的進出には各國は勿論、列國も今や全く靜觀的態度をとるに至つた換言すれば、日本の絶對指導下に現在進展しつつある滿洲の革命的諸政策に對し、列國は一指も觸るる能はず、一言も容喙し得ず靜觀しつゝある許りでなく、今や、日本軍に依る徹底的な滿洲の治安回復と日本の熱意ある文化建設とに對し充分の信頼と同情とを寄するに至つたのである、米國Ｕ、Ｐ社長アール、ダヴリュー、ハワードは去五月訪滿の際、小磯參謀長招待晩餐席上で「米國の大衆は遺憾乍ら極東の情勢に甚だ暗い、然し乍ら吾々新聞人乃至知識階級は、日本の滿洲に於ける眞摯な文化建設作業に對し深甚な敬意を表するものである、管て吾人は、日本の朝鮮併合の際米國對朝鮮の通商は全く閉塞せらるゝものとして杞憂したものだが、事實は全く之に反し、併合後の朝鮮の秩序回復に伴ひ米鮮の貿易は却つて增加した、私は將來滿洲に對する米國其他諸外國の經濟關係が朝鮮の例の如くなるべきことを豫想し且期待して已まざるものである」と述懐してゐる、又最近、ロンドンタイムス記者ピーター、フレミングが滿洲實情調査の爲來訪したが、彼は視察の目的に就て「英國の一般民衆は、今や滿洲の局部的問題、例へば討伐行動や建國革命に伴ふ空宣傳的ニユーズには何等の興味も關心も持たなくなり、彼等は寧ろ堅實なる國内經濟發展の數字的實證を欲求し、最も熱心に滿洲國將來の文化開發に大なる期待をかけてゐる」と語つてゐる、蓋し、列國の滿洲國に對する關心は、此等の言に窺はれる如く、今や滿洲治安確立後の經濟進出に轉向したと言つて過言ではあるまい

最後に、之も事變直後から滿洲に活動してゐる倫敦デイリー、テレグラフ滿洲特派員ヂヨージ、タヴリユー、ゴーマンに就て一言を加へやう、彼は過ぐる三月頃から「英文滿報」に入社し、目下其編輯局長として辣腕を振つてゐるが、彼の過去十數年に亙る支那、特に北支方面に於ける体驗と明敏な頭腦とは、滿洲時局に對する適確公正な觀察と判斷とを誤らなかつた、目下彼の論陣は、主として滿洲國の產業經濟方面に張られ「外國人の讀む英字新聞」としての「英文滿報」紙上を飾つて居る

關東州及び附屬地の
外國爲替管理は九月より實施

〔東京四日發國通〕關東州及滿鐵附屬地に外國爲替管理を實施する件に關し過般拓務省で懸案作製、永井拓相より外國爲替管理委員會に諮問中の處四日藏相官邸で開かれた同委員會で可決、大体九月より實施することに決定した、實施される外國爲替管理内容は内地に準據するが左の特例を設く

一、各種銀系金銀系統の取引は取引規定を緩和する事
一、同地域と滿洲國との間に於ける資金證券の移動取締規定を緩和する
一、錢莊取引所の取引は幾分緩和するが思惑投機を取締る爲め特殊規定を設く
一、無爲替輸出を取締らず
一、外貨資金を外國爲替銀行に集中する方針をとらず

日滿實業懇談會
十五日より開催
結城委員長等十日東京出發

〔東京四日發國通〕十五日より三日間大連に於て開催される日滿實業懇談會は、日滿經濟ブロック確立に至る一楔機として内地經濟界各方面にも大期待を持たれ、全國商業會議所よりも百十數名出席の豫定で、委員長結城豐太郎氏を始め各委員は十日東京發、神戸よりうらる丸に乘船する豫定である

生糸課税
決定不可能

〔東京四日發國通〕出淵駐米大使よりの報告によれば人絹を棉花の競爭品とする主張も根據薄弱で生糸に對する課税の如きは聽聞會の形勢のみでは決定不可能と觀られて居る

極東露領
上半期漁獲

〔ハルビン四日發國通〕極東露領本年度上半期の漁獲實績に就きソ聯側當局の發表左の如し　（單位千圓）

計畫高　九二二、一　センテネル
實　績　六六九、三
實績割合　七二、六　パーセント

國營漁業機關中上半期漁獲計畫を遂行し得たのはテンプ一〇九、四%、海獸漁業機關一〇〇%、北樺太漁業機關八七%である、トロールトラストは七〇、三%、蟹トラストの如きは僅か四二、二%と云ふ不成績である、而して蟹工船の中上半期計畫豫定漁獲高に達したものは一隻も無い

撫順アルミ試驗工場
近く生產工場として斯界に君臨

〔大連四日發國通〕撫順のアルミ試驗工場は經費三十五萬圓で着々進捗し約一ケ年の試驗後本格的本工場として獨立一會社を構成するが、之が資本三百萬圓は九年度豫算に計上されることとなつた、完成の上は世界唯一の粘土原料のアルミ工場として輕金屬界に君臨することとならう

珠玉を碎く（七十八）
吉井勇
（高根秀浩畫）
（禁無斷上映上演）

罪なき罪（四）

「いゝえ、違ひます。その指環は盗んでなんぞ來たもんぢやありません。なんぼ何でも盗んだなんてあんまりですわ」

純子の目には涙が光つた。が、莊太の目にはそんなものは入らないらしく、夢中で妹の襟髪のところを掴んだかと思ふと、突然そこに捻伏せながら、

「純子……。お前は何うしてこんな情ない量見になつたのだ。おれにはちやんと判つてゐるぞ。いくらお前が盗んだものでないといつても、お前の顔に射してゐるその暗い影が承知しない。見ろ。鏡に向つてよく見て見ろ。お前はいくら違ふといつてもお前の顔にはちやんとさうだといふことが書いてあるぞ」

「兄さん、そりやああんまりですわ。あたしが盗みをしたなんて……そりやあほんとにあんまりですわ」

純子は喰ふやうに泣き出しながら、

「ほんとにこれは京子さんから貰つたんです。京子さんがこれを賣るなり何うなりしてお金にしろといつて呉れたんです」

「京子が呉れた……嘘を吐け。何も喋らないのに唯こんな指環を呉れる奴があるか……。いゝや、たしかにこれは盗んで來たのだ、何處かで萬引でもやつて來たのだ」

「兄さん、そんな……萬引だなんて……」

「いゝや、たしかにさうだ。たしかにさうに違ひない。さうならさうと、何故白狀をしてしまはないのだ」

病氣は莊太の心までを、すつかり頑なにしてしまつてゐた。彼はさう思ひ込むと意固地になつて、激しく妹をせめないではゐられなかつた。

「さあ、いへ。なぜ罪を悔いない……。なぜ素直に白狀をしない……」

「しかしあんまりですわ、兄さん」

純子は急に泣き聲を立てゝ、泣きじやくりをしながら切れ〴〵にいひ續けた。

「なんぼなんでも盗み出したとか萬引をしたとか……そんなことほんとにあんまりですわ……。あたしいくらお金に困つたつて……そんなさもしいことはしません……ほんとにこの指環は……あの京子さんから貰つたのです……京子さんが、あたしに呉れたのです……」

「嘘を吐け。唯カフエで三四度會つたゞけのものに、こんなものを呉れる譯がないぢやないか」

「實はね、兄さん……。あたし訊かれたからいろんなことを喋つたのです」

「こんなことを喋つたのだ」

「兄さんが病氣で寢てゐることや何かを……」

「さうしたらこれを呉れたつていふんだな」

「え、まあ、さうです」

「さうか……」

莊太はぢつと考へてゐたが、やがて妹の襟を引き起しながら、

「よをし、それぢやあこれからすぐに行つて、この指環を返して來い」

「だつて折角……」

「何でもいゝ。おれのいふ通りにするんだ。さあ、すぐに行つて返して來い」

莊太は純子が愚圖々々してゐるのを見ると腹立たしさうに然手に掴んでゐた指環を、妹を目懸けて敲き付けた。

「さあ、早く行け。何を愚圖々々してゐるんだ」

と、その指環が當るとほとんど同時位にそこの襖を開けて妙子が、

「おや、何うしたんですの……」

といひながら入つて來た。

日英協議に臨む帝國政府態度決定
自由討議の形式で懇談を遂げ圓滿なる妥協主義

〔東京四日發國通〕日英通商の全般的調整を目的として開かるべき日英民間協議會は、最初日印協議會の終了後に行ふ豫定なりしところ目下ロンドン滯在中の門野顧問が歸朝を急ぎつゝあるため民間代表は、來る十一日横濱出帆、米國經由ロンドンに向ふことになつたが外務當局は右日英協議に對し大体左の如き方針で臨む希望である

一、日英協議會では、最初先づ自由討議の形式で懇談を遂げ、以て英國側との間になるべく圓滿なる妥協を行ふこと

一、日英協議會で達成すべき日本側の最終目的はなるべく英本國との間に限り貿易取引數量協定を行ふ事であつて濠洲カナダ其他自治權を有する英領植民地に關する協定は之を除外する事に努力の事

一、英本國以外の市場に關する協定は當該諸國の代表者との間に個別的に協定を遂げるべきである

本協定成立迄
暫定規定を設ける事に努力
外務當局の態度決定

〔東京四日發國通〕日印通商交渉に對する英國政府の文書による最後的回答は未だ到着せざるため我外務省では、その成行を注視しつゝ對策を協議して居るが、目下のところ左の如き態度を執る事に決定して居る

一、英國政府で日印交渉に臨むべき印度代表に對し外交全權を附與せざるに於ては當方でも正式の全權を委任せる代表を派遣せず

一、然しながら印度商務長官ボーア氏を始め英帝國部内非公式回答によるも印度に於て實質的に日印兩國代表の協議決定せる内容を本質的に變更せざるべしとの默約に信頼して帝國政府は頭初の豫定通り外務省から澤田氏を商工省から寺尾貿易局長等を代表として派遣すべし

一、日印交渉では可及的に現行日印通商條約の存續を主張し、以て最惠國待遇の獲得を期することゝ能はざれば日印兩國間に本協定成立まで兩國通商關係に差支へなからしむる樣暫定規定を設けることに努力すべし

シムラ會商難色に
松平大使に訓電
印度代表はボーア氏か

〔東京四日發國通〕外務省ではシムラ會商の印度代表に英國側の全權委任狀附與に關し難色あり、シムラで得たる新條約調印も不可能視されるので

一、本日松平大使へ更に訓電し

一、全權委任狀附與を督促し

一、委任狀を出せねば新條約の内容をロンドンで變改せぬことを確約しやう

と申告するに英國側で右を保證せば我國で澤田公使以下を單に印度出張を命ずるの形式で派遣し、正式調印はロンドンで松平大使とサイモン外相が當ることに内定し印度代表は商務長官ボーア氏となる模樣である

ランカシア代表
廿五日出發

〔ロンドン四日發國通〕シムラ會商に出席するランカシア代表は廿九日マンチエスター發日本側代表の到着前に印度側と對策を協議する筈

首席代表
英國商業會議所聯合會長　ウイリアム
リース卿
次席代表　オーガスタス
ロングウース
隨　員　ハンマーレース
イアストリート

第六次北鐵會議で
滿洲國獨立性を强調
＝交渉漸次好轉の兆＝

〔東京五日發國通〕第六次北鐵會議は既報の如く四日午後二時より

＝開會＝

され劈頭先づ丁士源公使が聲明書を讀み上げてソ側が前回の會議で根據なきことを强調せる北鐵所有權の點に就き詳細反駁し、次でユレニエーフ氏起つて之に應酬せるも結局所有權問題はソ滿兩國の見解の相違によるものとして一時討論を打切り愈々實質的交渉に入つた、卽ち先づソ代表ユレニエーフ氏よりソ聯邦では北鐵に關する權利讓渡價格を二億九千萬金ルーブルより二億萬金ルーブルまで引下げる旨曩に非公式に申出で置きたるが玆に之を正式に聲明する旨及滿洲國でも之に應じ買收されたき旨を述べたのに對し滿洲國側代表大橋次長は右の申出は滿洲國側として

＝初耳＝

にして曩に非公式申出云々は滿洲國側になされたものに非ず、斯くの如き筋違ひの申出は受くるを得ず又滿洲國の從來の申出たる五千萬圓は相當以上の價格にして增額は絕對に考慮の餘地なしとて大橋次長はソ側が獨立國たる滿洲國の立場を無視して頻に日本側へ對してのみ種々働きかくる狡猾な遣方を難詰しソ側の提携を一蹴すると共に其反省を求めた、因つてソ側は今後充分注意すべきを誓ひ尚ほ今後は交渉の可及的進展を

島嶼先占問題
陳濟棠が軍艦に調査を命令

〔東京四日發國通〕某所着電によれば、南支那海にてフランスが占有を聲明した九個の島嶼に對し、廣東の陳濟棠政權に於ても之を重大視し軍艦二隻を派遣して詳細を調査する樣艦隊司令官に命令したと

圖る爲め

一、ソ滿兩代表より夫々カズロフスキー氏並に大橋次長を委員として選び、兩氏の間に私的交渉を行はしめ讓渡條件の折衝を行ふこと

一、右私的交渉によりて得たる結論は凡て正式會議に附議し其の承認を得ざれば有效と認めざる可きこと

を申合せ午後六時散會した

北鐵會議後
滿洲國よりコンミユニケ發表

〔東京五日發國通〕四日の第六次北鐵會議後滿洲國側代表部は左の如きコンミユニケを公表した

第六回會議では双方代表部提案の審議續行され且會議に關聯ある一切の問題の審議の爲に會議の中間に於て各代表部專任の委員の中間會商を開くべく而して右審議の結果はこれを双方代表部へ報告し其の採決を經たる後會議に於て正式に決定することゝせり

露國主張の不當を反駁す

〔東京五日發國通〕北鐵四日の會議後發表された滿洲國側の聲明は頗る長文であるが先づ蘇側の所有權主張の不當なるを嚴しく蘇側の讓渡價格算定根據の誤りを指摘し左の如く述べて居る

滿洲國代表部は蘇側の提示せる北鐵並びにその附帶財產に對する評價の如きは絕對に承服し難く從つて滿洲國代表部としてはこゝまでも北鐵が第三者に對して現に有する總ての債務を蘇政府に於て引受る條件の下に提示せる五千萬圓の代償額にて北鐵並びに財產一切に於ける蘇聯の權利を滿洲國が讓り受けることに異議なきことを再度ここに指摘すると共にこれ以上の金額を支拂ふことは北鐵の現有價値並びに滿洲國財政の絕許さざるものなることをソ側で諒察の上、速かにこれに應諾し以て極東に於る國際政策の安定上意義ある本交渉をして首尾よき結果に到達せしむべく努力せられんことを希望して已まざる次第である

頭初の主張に
些の讓步の餘地なし
李督辦會議を前に決意を語る

〔ハルビン四日發國通〕ソ聯の北滿に於る赤化宣傳の伏魔殿視されて來た北鐵の改造問題を審議すべき北鐵監事會及び同理事會の全体會議を目睫に控へて滿洲國側は李督辦を首席とし、連日の酷暑を他處に鋭意對策を協議しつゝあるが李督辦は左の强硬な意見を開陳した、卽ち

來るべき全體會議にソ聯側が提出すべき議題は既に明白となつた、ソ聯側が誠意を披瀝すれば問題の解決は容易だが只今の處先方の態度は蓋を開いて見ないと解らぬ、曩にソ聯が一方的に拉去した機關車は飽く迄これが返還を要求して初期の目的を貫徹する我が方の態度、政策には毫も變化はない、原案の解決に努めして讓步すれば我が方は斷乎として讓步するものではない

首相藏相の斡旋で
殖民地人事原案可決

〔東京四日發國通〕殖民地人事異動は四日の定例閣議に上程されたが政、民兩系閣僚は始めより衝突、閣議は再三休會し大混亂に陷り内閣の危機さへも豫想されたが齋藤首相高橋藏相等の斡旋で漸く兩、鳩山兩相もなつとくし永井拓相の原案通り可決、卽日發表された

は、勿論經費難に原因するも今後此の種の運動を藍衣社系が獨裁するものと觀られ藍衣社系今後の出方は注目に價する

馮玉祥强制的に
抗日團を徵募
抗日に意なき民衆怨嗟

〔奉天四日發國通〕察哈爾に在り抗日の拍車をかける馮玉祥は軍隊によつて直接行動と共に民衆の抗日心を煽るべく、民衆抗日團を組織すべく七月中旬以來一千名の青年を募集して居たが、應募者少く馮は俄に强硬態度に出で、地方青年を强制的に徵兵するので怨嗟の聲は全市に張つてゐる

湖北省政府
改組以來
各機關藍衣社に掌握さる

〔漢口四日發國通〕湖北省政府の改組せられて以來舊吏員の被免せられたる者二百名に達し縣知事等地方長官及び黨部委員の更迭も多數に上り、湖北の藍衣社はきチンボを以て發展中であるが、最近其の手は武漢各工會にも伸びたるが如く反對者の急先鋒碼頭工會委員長王錦霞は去る廿八日突然行方不明となり又七月卅一日限り反日機關たる國貨提唱專門委員會解消せられたる

米赤十字社が
露領亞細亞の饑餓地帶を救濟

〔奉天四日發國通〕某方面よりの情報によるとアメリカの赤十字社は本國より多額の資金の供給を受け今回救護班を組織し饑餓に瀕せるシベリヤ、ウクライナ、コーカサス地方の住民を積極的に救助せんと計畫しつゝあるが其反面には

菱刈新軍司令官は
十四日東京發
新京着は廿三四日頃

榮へある關東軍司令官、特命全權大使、關東廳長官の三位の長として着任する菱刈大將は十四日東京發、伊勢大神宮桃山御陵を參拜、十七日正午神戶出帆のウスリー丸で大連に向ひ二十日大連着、二十一日は大連に於て官民の招待會がある筈、新京着は目下のところ未定であるが二十三、四日になる模樣である、なほ隨行員は岡村參謀副長、冢田新第一課長、原田第三課長、西大條參謀、岸本軍醫正、今村副官、大使館側よりは谷參事官、鵜兒、篠原兩秘書官等である

老夫妻巷で憤死
ソヴィエート政治を呪ひ
ウラジオの銀座街で反革命の絕叫

〔ハルビン四日發國通〕當地方白系露人が浦鹽在任の友人より受けた書簡によると、同人が親しく實見したと述べたるソヴィエートのみに聞かれる次の如きニユースが齎された

卽ち浦鹽一番河居住の帝政時代の陸軍中佐ウレ、リベツト（六十一歲）及同妻エリザベツト（五十一歲）は革命以來一番河汽船會社會計係に勤めて居たが昨年末解雇され、爾來子女三人をかゝへ極度に生活を脅かされてゐた、玆に於てウレリベツト夫妻は何事か堅く決意し、六月下旬宣傳ビラ（左記のもの）數百枚を携へ浦鹽市の最も殷賑な一番河停車場前廣場に至り左のビラを撒布し、驚愕する市民を尻目に敢然と叫んでソヴィエートの現狀を披瀝し、反革命の實行を叫び、之を群衆に慫慂する旨を述べたる後共に路上で自殺を遂げた、撒布したビラは左の如きものである

我同胞白系露人よ、我は敢へて諸君に訴へる、刮目して現政治を見よ饑餓を訴へる同胞を目前にし、諸君は如何で平然たるを得るや、この壓迫、この屈辱、この悲慘、血ある者は沈默し得るや、起て同胞熱血を以てソヴィエート顚覆を圖れ

滿鳥、滿北兩協定
廢棄されん

〔ハルビン四日發國通〕北鐵の財政困難は從來對立の形勢にあつた滿鐵北鐵の運輸系統に著しき不均性を來すに至りこれが爲兩鐵道の各種運輸系統は全般的に改廢されねばならぬ機會到來するに至つた卽ち主なるものは

一、滿鳥聯運協定

二、滿鐵北鐵拂戾金協定

であつて何れも九月末滿鐵側により廢止聲明が發せられるのではないかと觀られる

各縣の邦人警備指導官
縣屬官とし地位身分を保證

滿洲國各縣に一名乃至二名配屬されて居る邦人警備指導官は單に囑託の名儀で何等身分保證を與へられて居なかつたが職務の性質上、危險の多いのに鑑み今回縣屬官に任じ、地位及身分の保證を與へることに決定した

英國ステユワード大佐
來る六日再渡滿

北鐵問題突發直後來滿、ハルビンに於て現地視察をなした英國上海特務機關長ステワード大佐は歸任後、報告文を本國に送附したが、更に充分な資料を蒐集のため六日來滿することゝなつた

て技術員十四、五名增員の豫定で本年度追加豫算要求中たるも出來ねば來年度本豫算に組む筈である

ハイラルに
滿鐵派遣員事務所新設

〔ハイラル四日發國通〕滿鐵ではこの度當地に派遣員事務所を新設するに決定元鄭家屯事務所勤務新貝松次郎氏が派遣員としてチチハル事務所長太田正夫氏と同道赴任し目下關係各處に挨拶方々打合せを行つて居るが近く正式に事務所を開きて北滿の新情勢に適應せる各種調査その他の事務を開始する筈

滿鐵地質調査會
業務擴張の計畫

〔大連四日發國通〕滿鐵地質調査所は時運による滿蒙資源開發の基本調査等で還に業務の繁忙を來し今回之が擴張を行ふこととなつたが人員に於

白系露人煙草販賣業者に
一圓に付き卅七錢課稅

〔奉天四日發國通〕營口縣稅捐局では附屬地居住白系露人主煙草販賣店に對し、價格一圓に對し一率に卅七錢の割接稅を徵收すべく七月末日通達したるに對し、白系露人側では英米其他諸外國人にも同樣の稅金を徵收するに非ざれば納稅せずと反對して居るが、外國人は寄附手段に依る間接稅を收納しつゝあり殊に白系露人は建國以來滿洲國人同樣の取扱を享受せるものである關係上當然稅捐規定の方法により課稅されるものと觀られてゐる

蘇聯よりシベリヤに或種の利權を獲得せんと策謀して居るものと觀られる

報復手段に出るべく近く嚴重抗議を申込む筈である

滿洲より渡航の外人から
支那政府が旅券を沒收

〔奉天四日發國通〕滿洲國より上海方面に渡航する者は何國人と云はず支那政府は不法にも旅券を沒收し新に上海に於て支那側發行の旅券を發賣する非國際的行爲に出で旅行者は非常に迷惑を被りつゝあるので滿洲國に於ても支那側に於て誠意を示さぬ時は之が

北鮮鐵道管理局長は
齋藤固氏に略々決定

〔大連四日發國通〕北鮮鐵道の統制機關組織は數日中に重役會にかけられるものと觀られるが、右統制機關の長には齋藤固氏が任命さるるは動かぬ處である

新民、彰武間乘合自動車
四臺子附近で匪賊に襲はる

〔奉天四日發國通〕二日新民彰武間の乘合自動車は午前十時頃彰武出發新民縣四臺子附近にて三十余名の匪賊に襲撃されたが急報により同地自衞團出動し應戰の結果賊二名を射殺した、乘客その他の被害は目下不明である

想は支配階級が觀念を改めぬ限りは第二、第三の新かる事件が起ると述べ四時半閉廷、次回は七日と決定

檢閱係陣容

新京關東廳出張所内に設置された關東廳出版物檢閱係は五日事務開始の挨拶に新京署高等係武市警部補の案内で來社したが檢閱係の陣容は左の如くである

關東廳出版物檢閱係長警部　灘　又次郎
同邦字係主任警部補　空閑　俊範
同漢字係主任　鈴木　甚助
同露字係主任部長　藤田　權藏
同囑託　石川　準吉

左の他總勢十一人である

滿洲國側殉國者
慰靈祭
九月四日民政部前廣場で擧行

滿洲國軍政部では來る九月四日民政部前廣場に於て殉國者慰靈祭を擧行することゝなつた、右は滿洲國成立後熱河、コロンバイル、三角地帶其他大小匪賊討伐に際し日本軍と協力戰場の露と消えた滿洲國軍兵士及び公務のために斃れた滿洲國官吏の英靈を慰めるためで、關係當局代表者は去る一日軍政部に參集第一回の打合會を開いたが近く委員の任命を見これが準備に着手する筈である

五、一五海軍公判

〔橫須賀四日發國通〕海軍公判第七日は午後二時再開、三上中尉より訊問、首相を發見した時首相は兩手をあげ話せば解ると繰返し、向ふへ行かふとしたが不毅、更に擊ふさすを見て居る首相に一發拳銃を放つたと室外に出んとする一個人には怨みはない故悲壯の感あつたと首相狙擊狀況を詳細に述べ帝都暗黑化の爲變電所を襲撃せる事實を述べ永久に軍人を支持せんとしたものでなく後繼内閣が出來る迄暗黑化を圖つたに過ぎない、目下の思

人事往來

▲岩下大佐（飛行第〇〇〇隊長）五日午前九時内地へ
▲佐野主計總監（關東軍經理部長）五日午前九時奉天へ
▲久住少佐（熱河隊長）五日午前八時來京
▲小山中佐（新京憲兵隊長）四日午後七時五十分歸京
▲森田成之氏（交通部路政司長）五日午前八時四十分ハルピンへ

團　体

▲岡山縣會議員十三名五日午後三時二十五分來京
▲神戶商業生十五名五日午後三時二十五分來京同四時三十分奉天へ
▲東京見本市團十一名午前八時四十分ハルビンへ
▲青森團二十六名五日午後七時五十分來京同十時奉天へ
▲大阪福島商業生二十四名五日午前六時四十分來京同八時四十分ハルビンへ
▲大阪齒科大學生二十名五日午前八時四十分ハルビンへ
▲名古屋高商生二十名五日午後三時二十五分來京
▲滿洲產業建設學徒研究團第一分團三百名五日午後三時三十五分來京
▲同第四分團二百八十九名五日午後三時二十五分來京
▲同第三分團二百八十一名五日午前八時四十分ハルビンへ
▲豐橋教育團二十三名五日午前六時四十分來京
▲國際觀光團アメリカンボーイ一行七名五日午後四時三十分大連へ
▲千葉醫科大學生二十四名五日午後三時二十五分來京同十時南行

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替
倫敦銀塊　[illegible]
同　遠限　[illegible]
紐育銀塊　[illegible]
孟買銀塊　[illegible]
米英爲替　[illegible]
米日爲替　[illegible]
米支爲替　[illegible]
スチール株　[illegible]
アナゴンダ株　[illegible]

▲棉花
●米棉
現物　九月限　十一月限　一月限　三月限　五月限　七月限　[illegible]

▲上海標金
昨止　高値　安値　本寄　步値　[illegible]

▲大連金鈔票
現物　近付　寄付　步値　[illegible]

▲大阪三品
引止　高値　安値　出來　[illegible]

各地市場

▲大阪綿花
當限　先限　[illegible]

▲大阪期米
當限　中限　先限　[illegible]

▲大阪株式
大株新　大鐘新　同新　東新　鐘紡新　[illegible]

▲同短期
[illegible]

新京市況

高粱　現物　出來高　[illegible]
小豆　現物　出來高　[illegible]

領事裁判權の廢棄を聲明か
日本の撤廢聲明と相前後し 關係列國に對して

滿洲國政府の日本に對する治外法權撤廢要求は兩國關係機關より成る準備委員會で大体確認される運びとなり、二ケ年の準備期間内に於ける基本法律の制定、裁判所、刑務所の整備、司法官の充實、國内警備機關の改善等を除すのみとなつたが滿洲國では日本の治外法權撤廢と同時に諸外國の領事裁判權を撤廢すべしとの意見有力となり既に關係機關に於てもこれが具体案作製を進めつゝあり、日本の對滿治外法權撤廢聲明と相前後して關係列國に對し、領事裁判權廢棄聲明が行はれる模樣であり、その成行は極めて注目されてゐる

星の國から三少年が來京
滿洲國の力強い歩みは力強い感じを與へた

國際觀光局斡旋アメリカンボーイ誌の懸賞論文に當選したブラドラ、ストロムチス及ウイリアムの三君はチャーレン教授に引率され四日午後七時五十分着のハトで何れも無帽の輕裝で着京した、驛頭には日滿代表學生や文教部、外交部總代表の出迎を受け宿舍ヤマト・ホテルに入つた、チャーレン教授は着京の挨拶に對し川崎實化司長の歡迎辭あり次でチャーレン教授は一行を代表して

新滿洲國のすばらしい發展振りには驚くの外ない滯在期間が短いので充分發展の姿を各方面から視察出來ないのは遺憾だが兎も角吾々に力強い印象を與へて呉れた、アメリカ青年達は日本と滿洲國と結びつけ東洋へのあこがれを深めることであらう

と語つた、尚一行は五日謝外交總長並びに中央銀行を訪問午後は市中を見物する筈

北鐵線上に躍る
赤色スパイの亂舞
驚倒すべき某國總領事館のブラックチエンバー

ソ滿兩國紛爭の癌たる北鐵の讓渡交渉も全く膠着狀態に陥り兩國關係の將來に一抹の不安を投げかけてゐる折柄、北鐵部内にあるソ聯勢力が專横をほしいまゝにし、二萬金ルーブルの不當支出をなし、然も之を反日滿的諜報蒐集の運動に使用せんとした事が判明し更にその黑幕に某國總領事の暗躍が見出されるに至り、端睨すべからざる國際スパイ戰の劇甚は今更乍ら當局を驚倒せしめて居る、最近北鐵會計課長がソ聯總領事の命令に基きルデー管理局長を通じ元北鐵營業課長ウオイトフ及理事會雇員クレンコフに對し二萬金ルーブルの不當支出を爲したが、右は在外ゲ、ペ、ウ支部（總領事館内）の指令により某國總領事館に反日滿的の情報を供給する運動資金の假渡金として交付したものと判明した

ウオイトフに對して發せられた指令は

一、○國某地共産黨フラクションとの連絡

一、日滿軍隊輸送兵器の種類數量の調査

一、指令の傳達

ウオイトフは既に日本の某地溫泉場に潜入し暗躍を開始して居る

クレンコフは從來より某國の諜報勤務に服して居たもので今も尚某國領事館より一ケ月四百圓の補助を與へられ旺んに活躍して居る、此の驚くべき國際スパイの暗躍を知つた當局は急遽その對策を考究して居るが滿洲國當局としては必要ある場合は北滿一帶に亘り赤色機關の閉鎖赤系露人の入國禁止斷行も已むを得ないと決意を固めた模樣である

國內司法警察制度の改善を協議す
治法撤廢準備の為

治外法權撤廢の第一階程たる滿洲國司法警察制度の完備に就いて具体的協議を遂げる爲三日午前九時民政部に於て吉林、黑龍江、奉天各省及び首都警察廳から各警務科長、警務司長等會合數時間に亘つて討議する處あつたが、協議內容は左の如きものと確聞する

一、指導的立場にある日本外務省警察官の全滿に配置せられ居るが滿洲國側警察及び司法官は之と協力一致、司法警察事務の完全なる遂行に邁進する

一、將來外務省警察官を採用するに關する具体的打合せのこと

一、司法警察機構整備に關する具体的打合せのこと

一、其他治安維持に關する事項

岩下飛行隊長去る
滿洲事件突發し關東軍麾下に

飛行隊が派遣されると共に其作戰主任として活躍其後關東軍飛行第〇〇隊長に轉じ其明晰な頭腦と圓滿な人格によつて作戰に、部下の指導に多大の功績あつた岩下新太郎大佐は今回所澤飛行學校生徒隊長に榮轉することとなり、後任者佐藤覺一中佐に隊務萬般の引繼ぎを了し、嚴父と仰いだ部下將兵全員の惜別の情溢るゝ見送りを受け萬歲聲裡に五日午前九時新京驛發赴任の途に就いた、因に同大佐は途中撫順を見學奉天に引返し數日滯在の上安奉線經由任地へ向ふ豫定である

舞臺の演藝をその儘聽取者に
新京放送局が中繼線を敷設

新京放送局では娛樂機關としての面目を發揮する爲着々諸般の準備を進め、其一として既に運動放送、祝典放送等戶外放送の一部が實現され、聽取者から大歡迎を受けてゐるが更に一歩を進めて舞臺より芝居其他の演藝を中繼放送すべく目下中繼線を敷設中で既に城內新京戲院等は配線を終り長春座、競技場、公園其他數ケ所は目下配線中である、これが完成の曉には先進國に於ける如く坐ながらにして芝居を聞ける譯で市民は實現の日を鶴首して待つてゐる、尚ほ演藝中繼放送の處女放送は名芝居の掛り次第新京戲院から支那劇を放送する豫定である

長春座の直營計畫
重役會で協議
三興行部との協定が問題

新京市民の娛樂場たる長春座は打續く不況のため丸住商會に賃貸せしめ同商會から

【更に】松浦松下興行部、森興行部、新京商事部に依託し三興行部で興行を續けてゐたが長春座の設備不完全のため改善方を當局から命じても長春座株式會社、丸住商會、三興行部で責任を轉嫁し且つ紛糾を續け警察取締上一大支障を來し、當局取締の癌とされてゐたが、今回長春座株式會社重役連に於て興行は總て會社直營で首都新京にふさはしい劇場とすべく

【計畫】を進め協議中であつたが愈よ五日重役會議を開き態度を決定することになつた、重役の決議の如何によつては丸住商會並に三興行部が一大紛糾を捲起すものと見られてゐる

三滿人警察官
二名の怪ロ人を逮捕
ハイラル市中での大活劇

【ハイラル四日發國通】三日夜北滿特別警察處ではハイラル市內四道街十四號滿人李震構方にロ人の

【匪徒】が潜伏し居ることを探知し、午後九時卅分頃特警務班一等刑事魏壽山、巡長趙警善、三等刑事邵官邸をして逮捕に赴かしめたるところ早くもこれを知つた賊等は拳銃を亂射して頑強に抵抗したので刑事もこれに應戰し、魏刑事は胸部に、趙刑事は手の甲に何れも傷を受けたが、更に屈せず勇敢にも突進して大格鬪の結果ロ人アーマスシーリンリガロフスキーの二名を逮捕した、右は去る七月廿一日ハイラル中央對外雜貨商德集盛を襲つて多大の損害を被らしめたるもので目下餘罪に就き嚴重取調中である

尚ほ以上の勇敢なる警察官三名に對しては本日ハイラル日本警備司令官並びに當地憲兵隊長より同日

【開催】された在ハイラル全警察官議席上に於て表彰金一封を授けられた

日本官憲慘殺の匪首田
赤峰で捕はる

【奉天四日發國通】七月下旬赤峰東水路に於て自動車を襲擊し日本警官二名を慘殺した匪首田は其後日滿官憲の嚴重な警戒網をくゞり逃廻つてゐたが去る七月卅日遂に赤峰に於て我軍の手に逮捕されたと

吉敦線江密峰附近の
北來匪を擊破

八月一日午前十時頃北來の率ゐる匪賊三百餘名は吉敦線江密驛北方の十部落を襲擊し掠奪を開始したので吉林軍並に同警察隊は直ちに討伐に向ひ我軍裝甲列車は江密峰附近にあつて射擊を行ひ避難民救助に任じた、匪團は二日朝沙河子方面に向け退却したが日滿軍協力して目下急追中

劉房子東方で
人質三名拉致さる

四日午後五時三十分劉房子東方三支里下店子の呂某方に系統不明の匪賊十名侵入人質三名を拉致、南方に逃走した、急報に接し自警團警官隊は目下搜査中である

吉敦線双河鎭附近の
匪賊を討伐

抗日反滿を標榜する匪團三百五十名一日双河鎭東南八里昌平嶺に現れ官馬山子（双河鎭東北七里）の自衞團を壓迫し北上しつゝありとの情報に吉林軍第十四師の一ケ中隊双河鎭騎馬討伐隊六十名は吉長線討伐中の〇〇部隊の協力を得て官馬山子の匪團本據を攻擊目下交戰中匪賊頭目は抗日好と稱するも昨夏北滿を荒した匪首殿臣なると略確實である

夏期大學はなかく好評
今夜第三講に入る

大連に於ける夏期大學の延長として引續き新京でも開講中だが、第二講は終り第三講は法政大學教授經濟學博士木村增太郎氏の「日滿經濟統制論」で今五日午後七時からまた第四講は法學博士副島義一氏が七日午後七時からいづれも新京高女講堂で開かれることゝなつた、既に終了した第一講（法博服部文四郞氏）第二講（東北帝大教授多田等觀、文博鹿子木員信兩氏）とも炎暑にめげず聽講者多數押しかけて熱心に傾聽し、いづれも多大の好評を博してゐる、聽講無料一般の來聽を希望してゐる

煙草の火から
遂に殺人沙汰
飛行場內服部請負小屋の人夫頭等の刄傷

四日午後九時五十分ごろ陸軍飛行場內服部請負小屋で人夫頭酒井義雄（三六）同武藤平人（三三）が

【泥醉】の末煙草の火のことから口論し、酒井は武藤の橫面を毆打し二人は大格鬪をなした酒井が押しつけられるや炊事場にあつた出刄庖丁を取出し武藤の上膊部に切付けたので武藤は一度逃げたがなほ追跡するため身の危險を感じ附近にあつた鉈をもつて酒井の腹部に斬りつけ重傷を負したので直に滿鐵病院に收容應急手當を加へたが五日午前六時絕命した

【急報】に接し憲兵隊並に新京署から花輪司法主任、總領事館から今江檢事等が現場に急行加害者武藤を逮捕するとともに實地檢視を行つた、目下加害者武藤は附屬地憲兵隊で取調中である

匪首三勝の實父を射殺

【奉天四日發國通】卅日遼源第八區林家泡屯に卅餘名の匪賊襲來し掠奪すとの報告に接した遼陽縣警察隊は直ちに出動、これを包圍攻擊しその結果匪賊は屍体十七を遺棄し逃走した、右屍体中には三勝の實父老統帶あるを發見し更に匪首新山は重傷を負ひ運搬中に死亡し、中勝も重傷を負つた

烈風で列車顚覆
南鮮地方暴風

【京城四日發國通】沖繩方面より北進した颱風のため朝鮮は電信電話不通となり、南鮮地方は家屋、船舶の被害相當甚しいが三日朝慶和附近で折柄の烈風のため列車脫線顚覆し乘客、乘務員等四名負傷し、釜山から救援列車が急行した

釜山方面の暴風被害

【釜山四日發國通】釜山一帶の暴風被害は四日午後一時迄に判明せる分は死亡一名、負傷十名、家屋倒壞、流失百卅二戶、浸水七百十四戶、船舶流失五十五、破損二十九

沖繩縣下の被害約一千戶

【那覇四日發國通】四日正午までの調査によると沖繩縣下の颱風被害は、倒壞家屋約一千戶に達する見込である

滿洲事變損害査定協議行はる

五日午前十一時半から新京總領事館で栗原總領事、佐々木副領事其他で日支事變に因る邦人の損害査定を行つた

營口縣に蝗の大群發生

【營口四日發國通】無數の小匪賊が空から營口縣下農作地を襲擊し多大の損害を與へ南滿一帶に猖獗せんとして居る七月末頃より漸次現はれ出した蝗は八月に入つてから俄然大集團を爲して飛來し滿人の常食物高粱、玉蜀黍、粟等を喰ひ潰し東進しつゝあり、農民は戰々兢々としてゐる、最も被害の甚しい地點は營口第五區官界任家屯、陳家屯、山東、小圈河等で西塘一帶は百白天地程農作物が完全に喰ひ果されて居る

ハルビンに大運動場建設熱

【ハルビン四日發國通】ハルビン八區の綜合大運動場建設の機運は漸次濃厚で體育協和關係者は四日午後八時より之が具体案に就き研究することになつたが、右に關する沼田市公署企劃課長の私案は第一期經費六十萬圓で野球、陸上水泳、庭球、蹴球各運動場を合すれば七萬五千人の觀客收容力を有するものである 右案が圓滑に進捗すれば滿洲國一のグラウンドが出現しやう

都ホテル開業

市內朝日通り新京總領事館正門前に都ホテルと言ふのが出來た、堂々たる三階建の大建築大小應接室十五室、客室浴場等々ホテルとしての凡ゆる設備を遺憾なく整へて居る、經營主は元公主嶺取引所信託會社に勤務した小林竹次氏で妻女が專ら從業員を指揮して親切叮寧をモットーに奉仕するそうである

市民早起會

每週日曜日に西公園誠忠碑前で行はるゝ市民早起會六日の日曜は午前五時半からである

日の出を拜するつどひ

六日（日曜日）朝四時より西公園誠忠碑前にて（新京日出時刻四時卅分）

にわか令嬢

折角お客さんに靴まで揃へて贈つて頂いたのでせう着てみたくて〳〵、てうど公休日が廻つて來たので今日こそ着てやらう髮もこわしてるし、てうどいゝから早速髮結さんにたのんでお孃さんらしく結つて貰ひました

×

それからコツソリ持出して來た洋服を着ましたの、あらアツパツパぢやありませんよ、ばき馴れない靴をつツかけて往來へ出ましたがどうも歩く調子がとれない、面倒臭くなつたから馬車に乗つてどこをあてともなく走らせました、するとと知つてる方に行き逢つてもだアれもあたしだといふことに氣がつかないでしよ

×

フト胸にうかんだのは町の西の方に出來た官舍ね、そこにゐらつしやるお客さまが遊びに來い〳〵とおつしやつたこと、驚ろかしてやらうと思つてその方へ馬車を走らせて間もなく官舍町に辿りつきましたの、こゝろやすい方だからいきなり今日はア遊びに來てよと飛び込んでやらうと思つてゐたのでしたけれど

×

來る道で若い女の人に尋ねて人の家を敎へて貰つた時にハア〇〇さまのお住居はあの家でムいますとバカにていねいだつたのでこりやしろうとさんと間違へたのよ藝者だと知つたら頭からあんなにていねいじやない（つゞく）

ラヂオ欄

六日（日）新京

新京 前一一、五〇 講演 滿洲經濟建設の現況 關東軍特務部 東福一等主計
同 後四、〇〇 レコード
同 後四、三〇 演藝
同 後五、〇〇 時事解說
同 後五、三〇 ニュース
滿洲語
東京 後六、〇〇 ニュース
新京 後六、二〇 東京中央放送局編輯 演藝
同 後七、〇〇 レコード
同 後七、二〇 ニュース
朝鮮語
同 後七、三〇 ニュース
氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告
同 後八、〇〇 演藝
東京 後八、三〇 時報

憲兵司令官橋本少將閣下、栗原總領事殿小山憲兵隊長殿ノ御三氏御榮轉ニ當リ聊カ感謝ト惜別ノ意ヲ表スル爲左記ニ依リ送別會開催仕候ニ付御賛成ノ上奮ツテ御來會願上度候　敬具

記

一、日時 八月八日午後七時

一、會場 ヤマトホテル納涼園

一、會費 金五圓也

一、申込 八月七日午後三時迄

會費ヲ添ヘ新京地方事務所庶務係（電話二〇一三番）ニ申込願度

發起人

新京警察署長 高山勝司

新京總領事館副領事 佐々木高義

新京地方委員議長 勘崎仙英

新京地方事務所長 荒木章

幕末異聞

愛慾火箭

瀧川駿 作
村瀨洗舟 畫
（上海映畫）

（百三十五）

道中（六）

眞暗な闇の天井から、ぽつたりと雫のやうに、落ちた一人の男があつた。

闇の中で、すつくと起ち上ると刀をひき抜いて、與四郎に向つて來たのであつた。その切先の鋭さ、流儀はないが、度胸と復讐心で斬り込んで來るのであつた。

煌り、闇の中で一閃、白刃が閃つた。

眞向に斬り込んで來たのであつた。與四郎は身體を沈めて、

『えいッ』

と、橫一文字に薙いだ。呼吸半分の疋田流の妙味。

『あッ』

件の男は、たッた一太刀で、朽木のやうに撞と倒れた。微に動いてゐた斷末魔の蠢きが、靜かに止まつて行つた。

寂寞、無氣味なやうな靜けさが暫らく續いて行つた。

——外は寂とした星月夜だつた。尾をひいた彗星が大きく弧を描いて飛んだ。

『お丶星が飛ぶ、險きはまつて闇となるか……』

藤田が太い聲で、大酒人のやうに言ひ放つた。

『お丶女中灯が消えた！』

與四郎が階上に向つて呼ぶと、女中が慌て丶階段を鳴らして上つて來た。

灯が颯と巾になつて差し込んだ。そして石像のやうに默りこくつてゐた三人を映し出した。

『あら？』

女中は血みどろになつて倒れてゐる、二人の屍を見て、けたゝまげた聲を張り上げた。

『さあ、刀を拭け！』

傍にぢッとかゞんで務一つ變へずにゐた早苗の眼の前へ、與四郎は鮮血に濡れた刀を、ぬッと差し出した。

『はい』

早苗は素早く、懷紙を出して血刀を拭ひとつた。

拭ひをかけた刀を、與四郎は宙で一度振ると、ぴしんと鍔口を鳴らして、刀を鞘に納めた。

『衛門、さい先が良いぞ』

小四郎は、秘藏の[illegible]役を懷紙で拭ひながら笑みを含んで言つた。

『いかにも——まづ一杯』

與四郎はどつかり腰をおろすと膳部の上の盃を、藤田に差した。

與四郎は血色が良い、まるで全快したやうに双頰に、ほんのり血色が浮んでゐた。

俄の出來事に、女中共は呆れたのか、立ち竦んで言葉がない。

そこで冷たくなつた屍と言ふのに、胡蝶の賊の一味である梟の櫂に、寸胸の凶の二人であつた。

美事も美事、二人ともたつた一太刀で息か絶えてゐた。

『お丶衛門、役人でも出向いたら面倒だ、出掛けやうか……』

『うむ』

まるで全快したやうに、心地良い顔で與四郎が答へた。

手輕な旅裝で三人は、紅葉屋の階段を踏んで降りだ。

『お出發でございますか？』

何にも知らない主人は、夜半の旅立を不思議さうな顔で見送つてゐた。

二階の女中は、氣を拔かれたのか降りて來る氣配さへなかつた。與四郎は門口に繋いである、駒の背に乘つた。そしてその手綱は早苗が牽いたのであつた。

きッと早苗の胸の內では、嬉しかつた與伊豆での事を思ひ出してゐるに違ひない……口元に薄い笑みを浮べてゐた。

駒の後から藤田小四郎が跟いて行つた——四邊は寂とした靜けさであつた。たゞ駒の蹄がぽかり〱と夜陰に響いて行くばかりである。そして三人は地々と續いた夜の街道を水戶へ、水戶へと急いで行つた。

× × ×

今後衛門與四郎は天狗黨に加盟して活躍するのだが——他日稿を改め……。（大尾）

八月六日　日曜　舊六月十五日
甲辰　友引　收　虚宿

●一白の人　足の疲れも次第に加はりて一歩も進み難し　巳と庚と癸が吉
●二黑の人　英氣を養ひて奮闘に備ふべき日病難を警む　庚と亥と寅が吉
●三碧の人　何心なく手を附けし事に意外の失敗ある日　乙と庚と癸が吉
●四綠の人　一の矢は外れ二の矢も無駄となるが如き日　乙と未と癸が吉
●五黃の人　誠意の存する所自ら信用加はり永く繁榮す　亥と丑と寅が吉
●六白の人　機を見るに敏にして熱心努力大望をも遂ぐ　庚と辛と亥が吉
●七赤の人　冗辯は浮薄に流れ徒に卑まる爭論更に注意　辛と亥と癸が吉
●八白の人　手馴れし從來の事業を勵み他に迷はぬが吉　丙と亥と寅が吉
●九紫の人　勢力爭ひを生ずる事あり分限を堅く守り吉　甲と巳と寅が吉

新京日日新聞
新京日日新聞社 發行所

北鐵會商は依然停頓の狀態

ソ側の讓步要求 滿洲側で斷乎一蹴

丁公使から反對聲明を發表

〔東京五日發國通〕北鐵交渉は四日午後二時外務次官々邸で開催、丁公使、大橋次長、ユレニエフ大使、カズロフスキー氏、クズネツオフ氏、西課長、鈴木中佐等出席、ユレニエフ大使司會者となり會談劈頭丁公使は別項の如き反對聲明を朗讀しカズロフスキー氏は讓渡價格を二億五千萬金ルーブルより二億金ルーブルに値下げする旨非公式に申込んで置いたが茲に右を正式聲明する故に滿洲國も我が讓步に應じ値下されたいと妥協を提議し大橋次長は右申出では滿洲國は初耳で提議受けられず從來主張する五千萬圓は一步も讓れずと斷乎反對し一二討議の後午後六時過散會した

反對聲明要旨

〔東京五日發國通〕滿洲國の反對聲明要旨左の如し

一、滿洲國は北鐵及び從業員に正常なる主權發動の自由を有するを茲に聲明す

一、北鐵の價値算定の基礎は現有價値により更に進んで將來の利廻りを加味して決定すべきで、奉露協定第一條一項によらんとするソ側の申出を拒絕す

一、滿洲國代表はソ聯側が滿洲側で出す前に提出したる評價數字の根據を示し、附屬財產計算の基礎も同樣提出を希望する

一、ソ聯側は北鐵今後の機能及び價値の大なることを强調してゐるが滿洲國政府は支那の利益を無視してロシア本位で設立された北鐵が北滿開發に有效と思はれず別個の鐵道計畫が既に一部完了し、滿洲國への意義は微少である

一、滿洲國側は北鐵の債務をソ聯政府で引受けるとの條件の下に五千萬圓で北鐵及び同財產を引受けるが之以上支拂ひ得ざることをソ聯側で諒承の上應諾されんことを希望して已まず

私的會談で進行をはかる

今後も曲折は免れまい

〔東京五日發國通〕北鐵交渉はコンミユニケ通り公式會議では專門的討議不能故今後は兩國の委員が私的會談で交渉の進行を圖ることゝなつたが、ソ滿の評價額は懸隔大で今後とても迂餘曲折が免かれぬ模樣である

印度代表に權限附與拒否

英國から回答着く

〔東京五日發國通〕日印通商善後交渉に臨む印度代表の資格に關する帝國政府の問合せに對し英國政府の正式回答は八月二日松平大使に手交されたが、右正文は四日午後外務省に到着した、英國政府は右回答に於て印度代表に對する外交權附與を婉曲に拒否し協定はシムラで取極めてもロンドンで正式調印をする意向を表明して居る

外務省公表 回答正文

日本政府は英國政府に對し印度に於ける日印商議の結果たる條約若くは協定を締結し且つ之に調印すべき權限有る代表者を任命されんこと及現日印通商條約を來る十月十日以後も有效ならしむる目的で暫行取極めを爲さんことを希望されたり、右第二點の暫行取極めに對しては印度政廳に於ても尚考慮中だが、出來るだけ速に御通知すべし、又

協定調印の點に關しては英國政府は印度の財政自主協定の結果として最早印度の財政政策を支配し得る地位に在らざるも印度の對際關係に對しては將來も繼續して責任を有するものなり、日本政府と印度政廳との商議の結果到達したる通商取決めの細目はロンドンで變更を受くべしとは豫想せざるも英國政府は其の協定が全体として印度の國際關係に影響を及ぼすや否やを考慮する責任を免かるるを得ず、よつて英國政府は日印兩國の間に到達したる協定の正式調印が印度に於て爲さるべしとの提議は承認するを得ず、印度に於て交渉する印度政府の代表者は右の如き協定に署名することの權限を有せらるるであらう、しかし乍ら英國政府は正式の調印は日本政府が承諾されるに於ては倫敦に於て調印さるべしとの意見なり、よつて英國政府は日本政府が代表者を任命して印度政府の代表者と交渉する目的で九月二十一日前に印度に到達するやう取計らはれんことを希望する（以下略）

外務省の對策協議

〔東京五日發國通〕外務省では四日午後シムラ會商への英國の回答の對策を協議したが大體受諾し得るが次の二點に疑義を懷いて居る

一、シムラで得たる結果に對し英國政府で變改せずとの確約が必要だが、右回答では明確でない

一、暫行取極め回答を保留して居るは遺憾に堪へず

外國爲替取締緩和

〔東京五日發國通〕大藏省外國爲替管理部は爲替管理法の實施に依り無爲替輸出の嚴重取締を勵行し來つたが、事務の繁雜を避むるため昨日委員會を開催し、取締規定を緩和することゝなつた、近く大藏省令を改正する筈であるが、今後許可不要となるもの左の如し

一、金額の少額なもの

一、代金を輸出後短期間に內地で受取り得るもの

一、取立爲替中の或種のもの 例へば取立金が短期間に內地にて取立て得る件件を有するもの

蔣の要求を馮玉祥拒絕す

結局は武力解決か

〔東京五日發國通〕四日陸軍省に達したる確實なる情報によれば蔣介石は去る二十八日馮玉祥に對し

一、中央に諮らずして軍事、政治機關を構成し察哈爾を中央より分離せしむるの結果に陷れしめざること

一、赤化を促進して北支方面に永久の禍根を殘すが如き愚に出でざること

其他二件を嚴重要求したが馮玉祥は二日に至り斷然之を拒絕した、一方北平當局は龍納勳を總指揮とし二軍九師を察哈爾省境に進め着々武力解決の步を進めて居り、其の先鋒は三十一日平綏線辛莊驛附近で衝突を惹起した模樣で馮玉祥對中央軍關係は遂に武力による解決の外あるまいと觀られる

宋哲元、馮會見

察哈爾問題解決で

〔北平五日發國通〕支那側の消息によれば宋哲元は何應欽の命令により直接馮玉祥と會見し、察哈爾問題解決の目的を以て五日朝北平發沙城に向ひ沙城或は宣化に到る地點にて馮と會見の意向であるが右會見を馮が受諾するや否やは不明である

支那紙の報道

〔北平五日發國通〕支那紙の報道に依れば馮玉祥は嚢に蔣抗日の激越なる通電を發したが四圍の空氣が自己に非なるを見たか代表劉治洲を龍納勳の下に派し和平解決を圖り又昨朝龍納勳に對し軍事行動を終熄するから代表を入察せしめ軍政事務一切の接收方を乞ふ旨中央及び北平軍事分會に報告方を電請して來たので龍は直ちに何應欽に向つて報告した、これに依り何應欽は昨日居仁堂で會議した上宋哲元を今朝六時沙城に赴かしめ龍納勳と會見商議せしめることゝなつたが馮玉祥が果して抗日同盟軍の名義を取消し辛莊子に在る軍隊を後退せしめた上は宋を察哈爾主席に復任せしめる筈であると

改正關稅は 果して滿足なりや

當業者の意見を聽く（九）

ルツボは沸る

鮮魚 ×××

從來鮮魚の關稅は鮪、鰻、海老、鯛等の高級品も鯖、鰺、鰯等の低級品も同一の一擔につき四圓二十九錢の從量稅を課してゐた爲從價稅にすると高級品には低く、下層階級の消費する低級品には非常に高いといふ不合理の結果に陷り從而一般下層階級が高價な稅を負擔することゝなつてゐたが今回の改正により之を撤廢し、鮪、鰻、車海老、伊勢海老、ヤ鯛、チ鯛は從前通り一擔につき四圓二十九錢、其他は總て約五割引下げられ、二圓十五錢となつた、これが爲鮮魚の種類によつて異なるが一割五分から二割五分見當の價格の引下げとなり、從價稅にして一割から二割程度のものとなつた、從而大連、旅順、朝鮮方面からの鮮魚の搬出は非常に期待されてゐるが殊に秋から冬にかけて全滿各地に輸入され、汎く各家庭の食膳に上る朝鮮方面よりのこれ等の鮮魚については一般より多大の望が繫がれてゐる

昭和八年上半期に新京に於て消費された鮮魚は昨年の二培十六萬七十貫であつたが本年の下半期には二十萬貫を遙に越すだらう事は想像するに難くない、何れにしてもこの關稅改正を劃して人口の增加と相俟つて朝鮮方面よりの鮮魚の輸入は期して待つべきものがあり、加ふるに敦圖線の開通、更に目下建設中の拉賓線の完成により從來鮮魚を比較的口に出來なかつた北滿各地へ非常な勢で輸入されて行くものと見られてゐる、而して今回の關稅改正に關しては關稅收入を重要なる滿洲國財源の一と數へられてゐる今日、先づ妥當と見られてゐる、右につき新京市場會社では語る

吾々としては關稅は安ければ安い程よいのですが、さう自分勝手の事ばかりも云へませんし、滿洲國の收入も考へなくてはなりませんが大体に於て妥當だと思ひます、改正の結果大連、旅順、朝鮮よりの鮮魚の大進出は今から想像され、殊に北滿へは劃期的のものがあると確信してゐます

北滿の要地

三河地方の現狀（三）

五、三河地方の過去及現在

三河地方は現在の露人移住民にとつて相當馴染深い土地である、彼等は放牧に、狩獵に、將又商工業の關係でアルグン流域及現在の三河地方とは久しい以前から連繫を有しアルグン流域、吉拉林金鑛地方は固より三河地方にも十月革命以前既に二、三の露人が入り込んでゐたが、然しこれ等の露人は狩獵又は放牧の便宜上單に臨時的假小屋を建て其處に起居してゐた程度で移住民としての形式は勿論具えてゐなかつた、それが偶々十月革命の勃發となつて露西亞內亂に次ぐ白軍の沒落は遂に滿洲移民運動を喚起し、一九一八—一九二〇年ザバイカル哥薩克を主體とする一部ザバイカル農民及異族人の集團的三河移住を見るに至つたものである

ソヴエート政權は間も無く顚落するものと信じてゐた彼等は再び歸國する積りで假小屋を建て、其處に一先づ落付いてゐたが彼等の豫想してゐた歸國は時日の經過と共に漸次望み薄となり遂に永住の餘儀なきに至り、玆に牢固な經濟生活を營む必要を生じ、牧畜穀物の播種地を開墾し、放畜をなし臨時的の假小屋は永久的の丸太小屋に改築され其他次から次へと必要の附屬建物が建築され所謂三河露人部落を形成する樣になつたものである、卽ち天然の風土彼等の故鄕たる後貝加爾地方に酷似せる三河地方に於て、農牧に先天的素養を持つ後貝加爾哥薩克の手に依つて三河の地は急速に開發され、僅々七、八年の短時日にこの無人の境を北滿有數の穀庫に仕上げたばかりでなく、又哥薩克兵村制に依る自衞軍を組織し北滿唯一の馬賊不可侵の安全地帶を形成するに至つた、實に一九二九年の露支紛爭事變勃發迄の三河地方は彼等住民にとり無比の樂土であつたのである

然るに一方蘇聯に國境を接する地方に哥薩克殘黨よりなる一團の反蘇勢力が存在する事は、蘇聯にとり國防上、國內政策上至大の脅威となり、蘇聯當局は宣傳に、懷柔に凡有手段を盡して來たが、由來三河地方に在る約五千の白系露人は何れも肉身の殺戮、財產の沒收等凡有る蘇政權の虐政の體驗者にして且つ傳統的誠忠の民である彼等哥薩克にさしたる反響もなく豫期の効果を收める事が出來なかつた、それが爲に蘇聯當局は此三河地方の住民を目の上の瘤とし常に之を排除する機會の來るのを待つて居た、時偶々一九二九年露支事變が勃發し蘇聯當局は此機を逸せず三河在住白系露人掃滅を企圖し有力なる赤色パルチザン隊をして三河を襲擊せしめ言語に絕する暴虐を行ひ三百近くの白系露人を虐殺し部落を燒拂ひ家財を掠奪し過去八年間孜々として築いた彼等の經濟地盤を僅々數日のうちに根底から覆して仕舞つたのである、而して更に四年を經た一九三二年の秋には又々蘇炳文一味の叛亂があり、反軍の爲に糧秣其他の物質を强制徵發され加ふるに未だ改められざる滿洲國側出先官憲の苛斂誅求も伴つて再度の經濟破壞が來た、蘇炳文一味の反軍は間もなく潰滅し一部爲政者の更迭を見たるも未だ動もすれば官吏の威令行はれず官吏の惡政は舊に變らず苛斂誅求至らざるなく、婦女子は强制的に官吏の妾とし拉致され、家畜其他の財產は現物稅の名目で沒收され三河在住露人の疲弊困憊は日每に增大されつゝある、他方一九二九年の露支事件以來殊に新國家成立後三河在住露人從來の自衞權喪失を好機として蘇聯勢力は巧に滿洲國出先官憲及滿洲國人住民を買收籠絡し或は武裝ゲ・ペ・ウ員を潛入せしめ三河在住露人に對する迫害の手を擴げつゝあるので、彼等は單に物質的の苦惱に止まらず、精神的にも亦大なる打擊を受けつゝある

米國新艦卅二隻

最短期間に建造

〔ワシントン三日發國通〕最近議會を通過した三億三千八百萬弗を以て三十二隻の新軍艦建造に着手すべく米國海軍補充計畫中十六隻の建艦契約は同計畫よりも以前に承認された、右十六隻分と共に二日大統領の裁可を經たので海軍省は各船舶會社と契約、調印三十二隻を最短期間に米國の製造力の全力を舉げて一氣に建造することゝなつた

滋賀縣議一行

七日に來京

滋賀縣會議員上原茂次氏ほか六氏は七日午前八時來京同日午後四時三十分發で奉天へ向ふ、一行は上原氏のほか左の通り

島田慶太郎、鈴江彰、花月純誠、渡邊九一郎、信正義雄、小暮眞の諸氏

天津から

滿洲視察團

〔天津五日發國通〕當地商業會議所主催の滿洲視察旅行團商業會議所上野評議員以下二十名は來る十日午前十一時三十五分天津東停車場發視察旅行に向ふことゝなつた

山海關で日支交通會議

北寧線は八日全通

北寧鐵路局では現在唐山迄運轉してゐる同鐵道を八日山海關迄試運轉をなすべく準備を整へ、接收委員殷同氏は昨夜八時北寧線で唐山に向つたが直ちに山海關に赴き唐山、山海關通車問題に就いて打合せを爲すことになつた、出發に際し殷同氏は支那側記者に左の如く語つた

中日双方代表は八日山海關で交通會議を開くことゝなり、日本側からは奉山鐵路局長闞鐸氏並びに關東軍代表出席、當方からは自分の外北寧鐵路局代表が出席する、會期は二日間の豫定である

中銀紙幣鑄造

平均額表

滿洲中央銀行發表紙幣並に鑄幣週平均額は左の如し（自大同二年七月二十一日至同二年七月二十七日）

△發行額 [illegible]
準備 [illegible]
保證 [illegible]
△鑄幣發行額 [illegible]

ボンベイで英品不買決行

取扱店前に見張番

〔ボンベイ四日發國通〕英國品ボイコットの爲商店見張が四日より再び開始され、英國品を取扱ふ商店の前には此等の見張人の姿が見受けられるに至つたが當局は直ちに之が彈壓に着手し早くも四日綿布市場前で見張をし、且英國商品ボイコットを慫慂したリーフレットを配布せる見張人九名が逮捕された

匪賊遂に逃走

三日午後七時五十五分頃四洮鐵路沿線（鄭家屯北方一番目驛）臥虎屯警察分所へ約四十名一團の匪賊襲來、分所員十名は必死の抵抗を試みたが賊は備附銃器等の一部を奪ひ逃走した

大同電氣の配電方を運動

四平街

四平街市南方滿鐵線泉頭驛附屬地在住日本人民會では此程同地へ四平街に本社を有する大同電氣よりの配電を受くべく民會の決議によつて同地窯業會社支配人宮地秀秀、同驛長草野光雄の兩氏を關係方面への運動委員として猛運動を開始した、同地は附近に石材、石灰セメント材等の天然資源に富み殊に本年度小野田セメント工場進出の矢先にもあり又該地への電燈施設の急を要するものなることは治安維持上からも當路官憲認め居る處なるが要は當該地への配電線其他の工事費が約一萬圓を要するに對して會社側では六千圓位の豫算を有するのみなりとの事とて結局四千圓の不足によつて難關に著したる形にある、四平街地方事務所管內中間驛で電燈設備のないのは獨り泉頭のみでもあり前記不足額捻出方法としては滿鐵側に補助申請をなし以て此の大懸案を解決以て泉頭住民をして長く文化の惠澤に浴せしめんと官民一致必死の努力を傾けて居る

松江增水

哈市不安襲ふ

〔ハルビン五日發國通〕松花江益々增水しハルビンの對岸ヨツト倶樂部水泳場の窪地は水中に沒した昨年度の未曾有の大洪水の苦い經驗を有する市民は松花江の增水で不安の念に襲はれて居る

廣告

公示催告

滿洲國新京南滿洲鐵道株式會社附屬地入船町三丁目二番地
申立人 李鍾元

右申立人ハ左記表示ノ證書ニ付公示催告ノ申立ヲ爲シタルニ依リ其所持人ハ昭和九年二月二十日午前九時迄ニ當館ニ權利ヲ届出テ且證書ヲ提出スヘシ右期日迄ニ届出及提出ヲ爲サヽルニ於テハ其無效ヲ宣言スルコトアルヘシ

昭和八年八月三日
在新京日本帝國總領事館
領事 花輪三次郎

目錄

一、證書ノ種類 倉荷證券
一、金額 金一千圓也
一、證書番號 一〇三八
一、交付者 國際運輸株式會社新京支店
一、證券作成年月日 昭和八年七月二十一日
一、品名 紅松角材一車三十本
一、寄託者 新京松關洋行
一、最後ノ所持人 李鍾元
以上

新京區公示第十二號

新京區ノ地方委員會委員及豫備委員ノ總選擧期日總裁ニ於テ左ノ通決定セラレタリ

昭和八年八月一日
南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長 荒木章

左開
新京區 昭和八年十月一日
但シ時宜ニ依リ選擧期日ヲ延長スルコトアルヘシ

新京區公示第十二號（譯文）

新京區地方委員會委員及豫備委員總選擧日期由本社總裁決定之如左開

昭和八年八月一日
南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長 荒木章

左開
新京區 昭和八年十月一日
但依時宜得將選擧日期延長之

范家屯區公示第八號

范家屯區ノ地方委員會委員及豫備委員ノ總選擧期日總裁ニ於テ左ノ通決定セラレタリ

昭和八年八月一日
南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長 荒木章

范家屯區 昭和八年十月三日
但シ時宜ニ依リ選擧期日ヲ延長スルコトアルヘシ

（譯文）
范家屯區公示第八號

范家屯區地方委員會委員及豫備委員總選擧日期由本社總裁決定之如左開

昭和八年八月一日
南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長 荒木章

左開
范家屯 昭和八年十月三日
但依時宜將選擧日期延長之

低資貸下は遅くも八月末までに
新京への割當は十五萬圓で輸入組合員に流込む

政府貸下の低利振興資金は其後一般中小商工業者に鶴首、待望裡にその割當額に關し竹惱みの形となり、一般より憂慮されつゝあつたが過般の旅順關東廳に於て

＝開催＝ された關東廳、滿鐵、鮮銀、輸入組合聯合會よりなる運用委員會に於てさしもの割當額も漸く決定した、この結果新京は十五萬圓、ハルビンに十萬圓、吉林に二萬圓合計二十七萬圓が新京金融組合に融け込む事となつた資金は未だ到着してゐないが遅くも八月末までには貸下を見る筈である。一方正式に貸下申込書を受理するのと同時期頃になるものと見られ、目下組合員の申込様式、並に

＝手續＝ 問題に關し鮮銀との間に於て種々折衝を遂げつゝあるが右に關し久末理事は語る

今回の割當額は比較的將來の新情勢を考慮に入れてない様だ、しかし新京は組合員の數、出資額、貸付額から押して十一萬圓程度のものであらうが多少これ等の事を考へ、四萬圓増額したわけだ、しかしながら新京に於ける資金の消化力が旺盛ならば他の

＝閑散＝ の組合から融通されることになつてゐるからたいした心配はない、申込様式及手續問題の決定を待つて正式に申込を受理することになつてゐるこの貸下により日本關税の改正と相俟つて日本商品進出のエポックとを築くだらうと今から期待してゐる

なほ、割當額は大連四十萬圓、奉天十八萬圓、旅順六萬圓、大石橋二萬圓、營口六萬圓、鞍山八萬圓、遼陽五萬圓、

＝撫順＝ 九萬圓、本溪湖二萬圓、安東十一萬圓、鐵嶺五萬圓、開原三萬圓、四平街六萬圓、公主嶺二萬圓である

大滿博盛況
國防館が人氣の焦點

〔大連五日發國通〕陳列の遅れて居た滿洲大博覽會は最後の國防館、機械館共六日陳列を終り、各府縣特設館、本館別館共完全に出揃ひ、大滿博の偉觀を整へた、六日は日本新聞協會その他多數團体市民の觀覽多く開館以來最初の記録を作つた、會場内の國防館は時節柄特に人氣を呼び、押すな押すなの盛況であるが總体に滿博は油が乘り市中の滿博デコレーションと相俟つて大連市民に博覽會氣分が横溢して居る

自動車が衝突
人夫二名が傷つく

五日午後二時四十分ごろ市内西三條と錦町交叉點で山口建築場人夫李桂台（二三）同張海明（二二）の兩名が長木林を運搬中長安公司貨物自動車一〇五六號を運轉手蔣玉書（二七）が砂を滿載し錦町から西に向け疾走し來り、二人に衝突し李に治療二週間の重傷を負はし張に治療一週間の輕傷を負はした、被害者は直に滿鐵病院に收容應急手當を加へた加害者蔣は目下新京署で取調中

日本内地資本家の進出に絶好機
産業建設いよ〳〵第二期へ
特務部でも極力援助

關東軍は滿洲に對しその第一次的目標である治安の確立に向ひ着々豫期の成果を收め、掃匪工作も大局から見て略一段落を告げ、今や大にしては東亞經濟ブロック、小にしては日滿經濟ブロック建設を標榜し、第二次的の滿洲産業建設時代に入り、三位一体の軍司令官

＝直轄＝ 下にある關東軍特務部が名實共に日本側の中樞となつて調査、建設の歩を進めらし、一方眞劍に國家的見地に立脚し、滿洲の産業建設に當らんとする眞面目の士に對するよき話相手、並に指導者となつて内地資本家の進出に利便を與へてゐるが特務部の東福大尉は右に關し語る

滿洲の産業建設に關しては國内及國外の諸情勢より綜合し、日滿官民擧力一致、歩調を共にするは勿論であるが而して事變前あれ程

＝熾烈＝ を極めた排日思想がその影をひそめた今日建設に要する資本を内地から誘導する事及び眞摯なる邦人事業家進出の好機であると云へやう、幸ひ從來疑惑の眼を以て見られてゐた關東軍の滿洲産業開發の方針は漸次一般より諒解されつゝあるが未だ〳〵相當認識不足の向も多い様だ、特務部としては各種利權屋に對しては斷乎挑撃の既定方針に邁進するは言を俟たないが、眞劍に滿洲

＝産業＝ 進出を企圖する者に對しては各産業部門に亘り、指導、援助資料の提供等をなし、出來得る限りその進出を助ける方針であるからどし〳〵質問して欲しい、現在日本は資本過剩に陷入つてゐるから外國資本を仰ぐ必要は絶對にない、先般の電信電話會社の株式募集に對し四十五倍もの應募者があつたのでもよく理解出來る

なほ從來比較的表面に現はれなかつた

＝特務＝ 部は顧問部、總務部、委員會の三部門に分れ、更に委員會を五つに區別し各專門の權威者の下に置かれ、各産業部門につき調査、建設を行ひつゝある、そのほか交通監督部、第三委員會に附隨してゐる移民部各種會社設立の促進係である設立準備委員會、拓務省朝鮮總督府の出先官等より構成されてゐる

パラセル島領有權
矢張俺のもの
但し日本人の利益は尊重とフランスは頑張る

〔パリ四日發國通〕フランスの南支那海諸島先占に對する日本政府の抗議は未だ佛外務省に着いてゐないがその回答はたとへ日本人が同諸島に燐鑛の採掘事業をしてゐるにしても日本政府は當初領有の手續を執らずフランスが國際法規上の領有手續を執つたのだからフランスの主權は爭はれない、勿論日本人の利益はこれを尊重すると言つてゐる

ブロンソン、レー氏
本月末再渡米
〔各方面に挨拶廻り〕

三日ハルビンより歸京した外交部顧問ブロンソン、レー氏は五日午前八時より[illegible]局長、張實業部總長を訪ひ諸建設事業の説明を聞き同九時三十分執政を訪問、挨拶を述べ種々報告する處あつた、尚同氏は謝外交總長の招宴に臨み六日奉天へ向ひ一、二泊後大連經由東京に赴く事となつた、氏は本月二十四日横濱發の龍田丸で渡米しワシントンを中心に米國各地を訪問し新興滿洲國の實状紹介に努め本年中は米國に滯在する豫定である

平綏線交通杜絶

〔北平四日發國通〕交通斷絶後の平綏線は遂に三段に分かたるゝに至つた、即ち張家口より北平に至る列車は辛莊子に到着後徒歩にて下花園、新保安兩停車場を經て沙城にやり同停車場より南下する狀態になつてゐる、徒歩するは約九十支里で沿路は平穩であるが馮軍並に中央軍の大隊は沿線各村に集中軍備甚だ嚴重を極めてゐる、尚同線芝溝堡、辛莊間は現に馮軍の名に於て切符を賣り通車せしめてゐる

日滿庭球試合
けふ午前九時益濟寮コートで
華々しく對戰する

新京体育聯盟主催、新京日報社並に本社後援の日滿對抗第一回軟式庭球、金壁東市長盃爭奪戰はいよ〳〵六日午前九時から滿鐵益濟寮コートにおいて開催されることになつたが第一回の對戰だけに頗る興味を以て見られ當日は金壁東市長も臨席、日滿出場チームは各十三組で[illegible]日軍は加藤主將、滿軍は牛島主將以下選手入場式あり競技が始められることとなつてゐる

高粱繁茂期の警戒の萬全を
新京署大汗で活躍

新京署では高粱繁茂期に於ける附屬地の警備對策のため日本側警備司令部、憲兵隊、領事館警察、滿洲國側民政部警務司、首都警察廳、京師憲兵司令部等と緊密な連絡を保ち全署員を總動員し高山署長指揮の下に五日より九月二十日までを三期に分ち晝、夜間の警戒として密行、捜査其他水も漏らさぬ警戒網を敷き萬全を期することとなつた

故武藤元帥の納棺式

〔東京四日發國通〕故武藤元帥の納棺式は四日午後四時半下落合の自邸で遺族、親戚を中心に荒木、内田、大角、永井各相外多數參列裡に式で行はれた

武裝移民團
佐々木軍曹戰死詳報

〔ハルビン五日發國通〕當地某所着詳報＝去る七月二十六日佳木斯に於て移民團第一線の花と散つた福島縣人陸軍豫備工兵軍曹佐々木喜吉氏の遭難詳報は左の如し

即ち去る七月二十六日午前九時頃永寶鎭の東南方約千五百メートルの部落に差しかかつた際潛伏中の匪賊四名は突如佐々木軍曹に發砲し軍曹は部下二名と共に勇敢に闘つたが、遂に賊彈の爲頭部に貫通銃創を受け悲壯な戰死を遂げたものである

盛夏三題
……何か適切な銷夏法は？
各方面に聽く（10）

お尋ね
一、今年の夏はどうしてお暮し遊ばされますか
二、避暑地にはどこが一番よいでせうか
三、何か適當な銷夏法はないものでせうか

○ 民政部總務司長　竹内德亥氏

一、相變らず忙しいその日〳〵を送つて居ります（旅行も致しません）
二、滿洲では旅順だと思ひます……海あり山あり木あり冷風ありそうして近代的の施設あり……而もその海その山は我々大和民族にとつては永久に忘るべからざる尊い歴史を物語りつゝある海であり山であるからであります
三、別に適切な銷夏法を考へた事もありません

○ 滿洲國協和會中央事務局次長　山口重次氏

一、事務局内で暮します
二、前任地の關係から旅大の海岸が一番よい様に思ひます
三、事務室では涼しい日は起案審査、暑い日は會議、討論、家では子供まで家族中が「暑い」と云はない事に極めてゐます、時々うつかりして子供に聞きつけられ家中爆笑が起ります

○ 新京驛長　高澤公次郎氏

一、人樣の避暑にゆかれるやうな時がまた一段と忙しいので未だ嘗て避暑なんて贅澤なことは考へたこともありません
二、西公園でキャンプ生活でもしたのが一番よいのではないでせうか
三、毎日無帽でテニスをやつて居りますが焦げつくやうな炎天の下で仕事に精進するのも一つの銷夏法だと思ひます

○ 大同學院學監　中原八郎氏

一、夏の前半は學生が視察旅行に出掛けますので留守番をします後半は學生と共に乘馬演習でもして暮します
二、避暑地は避暑する考がないので存じません
三、成るべく汗を多く出して下痢せぬ程度に水を飲むが最良の銷夏法なりと存じます

○ 新京金融組合理事　佐野義臣氏

一、移轉早々のため一日も早く新京の事情に通ずべく毎日市中を廻つて組合員に接し庶民金融たる金融組合の趣旨を早く知らしめ小口金融——庶民金融に努力いたします
二、今日迄生れて一度も行つた事がなく、避暑なんか行ける身分でないですが、行くとしたら海より山と水の處、橋頭でせうか？
三、大いに運動してか……又働いて汗を出してサツト行水して浴衣に着かへる事……これに增した事無し

○ 新京普通學校長　笛木俊夫氏

一、小さい學校であるだけ色々と問題があるので休暇だからといつて旅行など出來ません、又そんな事考へてもおりません、例年どほり毎日〳〵出勤しております
二、避暑地、これは身體の強弱、各人の趣味等によつて異ると思います
元來健康に惠まれてゐる爲避暑と言ふ事はなした事はなく從つて避暑地の良否などといふは斷定いたしかねます
三、やはり働く事でせうか、勞作の爲の汗が一番涼しく味ひのある様に思はれます

產建學徒團
大演説會

九日西公園に開かれる日滿青年大會に參會の滿洲産業建設學徒研究團は同夜午後七時半から新京高等女學校に於て大演説會を開催することになつた、本演説會は右研究團一行が過去一ケ月に亘り全滿を視察研究せる蘊蓄を發表するものであつて現在日本の青年學徒が滿洲に對し如何なる抱負希望を有してゐるかを知る絶好の機會として各方面より期待されてゐる

都市對抗野球

〔東京五日發國通〕四日の都市對抗野球試合の結果左の如し

神戸一二對福島二、八幡七對全吳二、京城七對川崎六

五日は函館對名古屋、臺北對東京、大阪對富山の三試合が行はれるが就中臺北對東京の試合に興味を集めて居る

名鐵先づ勝つ

〔東京五日發國通〕都市對抗野球戰の名鐵對函館の第一回戰は五日午前十時三十分に名鐵先攻で開始、結局四對二で名鐵勝つ、閉戰零時二十五分

△スコアー

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
名鐵	0	0	1	0	0	3	0	0	0	4
函館	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2

『極東の青年と手を組んで』と
米國の三少年離京

昨夜チャーレン教授に引率されて來京したブラドラ、ストロムチス及ウイリアムの米國三少年の一行は本日午前中軍司令部、大使館を訪問後、文教部に鄭國務總理を訪問

＝午後＝ は川崎情報處長の午餐會に臨み市内並びに國都建設情況を見學し午後四時三十分發列車で離京したが、一行は交々語る

新京には僅か一日の滯在でしたが、國務院始め日滿各機關を訪問して甚だ有益でした、日本並びに滿洲國に來て我々は今まで持つてゐた極東に對する觀念と實際とが大いに異つてゐるのを發見しました、新京の建設事業を見て新興の意氣に燃ゆる滿洲國の力強い歩みが感ぜられました、將來の

＝滿洲＝ 國の發展には明して見るべきものがあると確信してゐます、我々は歸米後此の極東の實情を廣く全米に紹介する決心です、今後我々は極東の青年と手を組んで少くとも太平洋をめぐる諸國の平和增進に努めなければなりません

新京軍勝つ
對早大野球戰

早大對新京の野球戰は五日午後四時早大先攻で開始、六A對三で新京勝つ、閉戰五時四十五分、審判森川（球）赤松（壘）

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
早	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3
新	5	0	0	0	0	0	0	1	0	64

白衣の勇士達
あす故國へ凱旋

□……お見送りを致しませう

七日午後零時四十分發第十八列車で新京より二十二名、公主嶺より九名、鐵嶺より十名、奉天より十七名、遼陽より二名、合計六十名の白衣の勇士は幾多の榮えある戰功を胸に懷しの故山へ歸還する豫定である

天氣と氣溫

△昨日の氣溫　高三三度〇分　最低二一度二分、△けふの天氣　稍南西の風、晴一時曇

大連市催 滿洲大博覽會へ 見學團の組織計畫

新京人なら廿圓程度で 丸三日間の見物

大連市政公署は七月二十一日から八月卅一日迄「滿洲大博覽會」を開催し滿洲國人多數の來觀を希望して參りました、今次の博覽會は新聞で既報御覽の通り世界現代の產業文化の縮圖を大連市に集めて來て誰れにでも解る樣に誰れにでも見られる樣に陳列したもので「百聞は一見に如かず」老幼を問はず苟くも向上發展を志す人々に取つては千歲一遇の好機會と思ひます

文敎部、民政部、實業部、興安總署、交通部、軍政部、國都建設局からも滿洲國新政府が三千萬民衆の福樂の爲めに粉骨碎身している諸政治工作の一般を誰れにでも解る樣に實物解說の展覽をしているのを始めとして日本全國主要大都市からも各々の產業を紹介する爲めに善美を盡くした陳列場を設けて諸君の來觀を待つて居ります、大連市は此等の陳列館を綜合して一大伽藍を建設し輪奐の美は實に繪を見る樣に美しい、夜は是れを電光で包むので不夜の都の樣です

此の博覽會を今假りに北安鎭克山方面から一人で行つて見るとすると火車運賃三等往復だけでも既に五十一圓五十錢を要し、齊齊哈爾方面なら四十一圓十錢吉敦方面なら四十二圓五十錢、滿洲里方面なら六十七圓十錢、新京方面なら二十一圓八十錢、山海關方面なら二十四圓九十錢を要します、火車運賃と聞いただけでも「行くには行きたいがそれではとてもやりきれない」と斷念するでせう、所が一卓十十圓の食事も若し之を十人で出し合へば一人の負擔は五圓に減じ更に人を增せば更に輕い負擔を以て大牽の滋味に飽くことが出來ることは吾々平常經驗する所りであります。旅行……火車賃に於ても同樣です、一人で行く代りに十人の團体を作つて旅行すれば三割減、五十人の團体で行けば半額減になります

茲に於て文敎部、民政部、實業部、興安總署、交通部、國都建設局、總務廳情報處及び協和會等で博覽會見學團体組織獎勵に關する中央委員會を組織し第一に鐵道運賃の割引を各鐵路總局に交涉致しました所が平常鐵路を愛護して下さる諸君に對して特に歡迎の意を表する爲め南滿鐵道、國有鐵道とも各々五割引卽ち正規の運賃の半價を快諾して下さいました、北滿鐵道は未回答ですが少くとも三割は引いて吳れるでせう、第二には大連に於ける宿泊料の低減交涉ですが此れも各旅舍とも最低一日の室料小洋五十錢から二圓と決定されました、食事は一食小洋三十錢から五十錢位迄で各人の懷工合で如何樣にも調節出來ることと思ひます

こうすれば 極安でゆける 第一班は七日出發

そうすると大連の滯在費總計概算はどうなるかと言ふと大連の文化諸施設を觀るのに一日を費やし、博覽會を見るのに一日、殘りの一日を自由に見物する日に當てると都合三日あれば充分ですから三日間旅宿の室料總計小洋一圓五十錢から六圓で充分でせう、此れに電車、博覽會諸入場券と大洋五十錢、食事一日三回小洋一圓から一圓五十錢として三日間の總計小洋三圓から四圓五十錢總計概算小洋六圓から十二圓位あれば間に合ひませう、つまり博覽會見學に要する一人當りの最低費用が（汽車、滯在費、電車、入場券の四項を含む）新京以北から來る人でも平均大洋三十圓からせいぜい四十圓程度であがる樣に、新京地方の人々ならば大洋二十圓、奉天地方ならば拾圓位ひの負擔で此の大博覽會が見られると思ひます

□　□

以上申し上げた通り成るべく大きな團体となつて旅行することが如何に費用の節減に效果あるかと言ふことは以上で御諒解下さつたこと、思ひます

然らば團體は作りたいが作る人が居ない地方はどうしたらよいかと言ふとそれは別紙の樣な申込書の形式で新京中央通の協和會內滿洲國博覽會見學團組織中央委員會見學團編成主任永江亮二氏宛に申込まれれば其の地方からの運賃其の他右に述べた必要額の總額幾何を要するか、割引切符は如何にして購入するか何月何日何時の列車に乘つて來て何所の主要驛で滿鐵第何列車に乘つていい斷の團體に合流なさいといつた樣な詳細な連絡を取る樣になつて居ります

> 十五日は!!
> 滿洲國デー
> 皆揃ふて參りませう…
> 大連滿洲博覽會

團体組織の注意

△次に團体を組織する方に對してであります

一、學生、敎職員、回敎、紅白卍字會、家裡敎等の宗敎團体等が組織する場合は文敎部總務司庶務科長堀越喜二氏と御交涉下さい

一、商務會、農會等が組織する場合は實業部工商務科事務官荻尾全一氏に

一、地方省市區縣等の官公吏諸賢が組織する場合には民政部總務司調查科廣川英治氏に

一、興安省內の方々は興安總署調查科長靑木英三郎氏に

一、個人參加或は公共團体等ない地方からの參加希望者は協和會會員等は協和會中央事務局社會部永江亮二氏に申込み連絡を取らるる樣に希望致します、夫れから見學團の輸送は鐵路各局や大連の旅館との連絡關係上大体假りに左の如く輸送日割を定めましたから見學團の參加申込書中には是等の中のどの班に參加さるることを希望さるるか明示さるる事は最も肝要であります

△第一班　八月七日　正午十二時四十分新京發　十八列車
十日　晚　九時三十分大連發歸還十七列車

△第二班　八月十日　新京發　時間同
十三日　大連發歸還　時間同

△第三班　八月十三日　同
十六日同滿洲國デー參加大團體同　同

△第四班　八月十六日　同　同
十九　同　同

△第五班　八月十九日　同　同
廿二日　同　同

△第六班　八月廿二日　同　同
廿五日　同　同

△第七班　八月二十五日　同　同
新京發　時間同
廿八日　大連發歸還　同　同

大連市催滿洲博覽會見學團組織獎勵委員會

興安總署見學團事務擔任者　調查科長　靑木英三郎
民政部　同　總務司調查科　廣川英治
實業部　同　商務科　荻尾全一
交通部　同　路政部庶務科長　萬澤正敏
文敎部　同　總務司庶務科長　堀越喜二
軍政部　同　顧問　富
國都建設局　同　總務處庶務科長代理　藤森岡卿
總務廳情報處　同　總務科長　松澤光茂
協和會　同　社會部　永江亮二

滿洲大博覽會見學團參加申込書（形）
一、姓名　住所（個人申込の場合）
團長姓名　住所（團體として申込の場合）
一、團體の內容（何々商務會主催、何々學校主催等）
團員人數
一、第何班に參加希望
申込責任者署名
會長、校長、等の姓名

海の外から

□米赤十字の失業救濟事業

一九三二年八月米國政府管掌の下に失業救濟に乘り出した米國赤十字本社では來る八月を滿期として衣服五十萬捆を據納する準備が整つたので被給與者は目下手を延して待つてゐる

□詩府の女生徒の好意

ジュネーヴに在る國立洋裁學校女生徒達は目下同國感化院收容の不良兒に痛く同情し向後五ケ年を期し每年五百着分の衣服を調製給與する事となり、愈々來る九月から其の實行に着手する事となつた

□携帶救急嚢

ドイツの山岳ファン連の間には最近「常に備へよ」の標語を旗幟として山登り或はキャンピング等に盛んに携帶救急嚢を持參する者が多くなつた

□悲喜交々の硫黃山發見

カリフォルニヤ州アルパイン地方に硫黃山が發見され、住民は資源增加に大喜びだが、此の山の下には往古埋沒したカ市及テパダ町があるのだと云はれ悲喜交々の態

□婦人用雪中靴

かかとの高い婦人の靴では、雪中ペーヴメントを步く際に轉び易くて危險だとあつていた靴の裏にスパイク式のひつかかり及步行調節裝置ある雪中靴が、目下ヤンキー娘の間に大流行

□日光代りのライター

紐育州にある果樹園では、曇天續きになると、日光代りに大仕掛のライターを照らして果樹成育を助けてゐる

新刊紹介

△新京（八月號）日本精神と滿立的々明治思想服部賢吉、この事實を正視せよ滿洲國の政府顧問ブロンソンリー外務省の新施設、ブロツク經濟の意義と昭和維新の指導三浦勝義、治安恢復せる滿洲國阪谷希一、滿洲の敎育狀況岩間德也、建設途上の滿洲國、北滿鐵路財產權の歸屬眞川虎夫、滿洲景氣觀吉書、新京操觚界瞥見記、滿洲漢藥ノータイと保健の關係醫學博士戶田正三滿洲國日系官吏列傳其他一部金五十錢、發行所新京日本橋通八番地其社

鮮魚小賣相場

品名	價	品名	價
活鯛	一〇五	連子	五六
アマ鯛	六〇	小鯛	四三
カツオ	四八・	ニベ	二一
ヒラス	三一	サハラ	五二
スズキ	三三	アジ	一六
ヒラメ	二五	ボラ	二六
コノシロ	三四	ヤズ	二六
マナカツ	四三	タチ	一三
ハゲ	二六	メバル	一二
サヨリ	三〇	グチ	一三
金頭	八	フカ	九
タコ	五〇	イセエビ	六〇
車エビ	九六	コエビ	三六
ハモ	三二	アナゴ	二三
アワビ	八五	ハマグリ	八
シジミ	五	舌	二六
バリ	二六	小巾	一四
メダカレ	一三	ウナギ	二〇

連載漫畫 三人上戸

易斷所

カン助「エライモンヤナア
エキ「ニンソウミテアゲヤウ
カン「メガネカラミルト、オヂサンノハナノアナ オホキイナア
エキ「ホホー ヘンナカホガナランダナ
ナルホド ナキ、オコリ ワラヒムシカ ウフ、、、
ワガ日ノ本ノツヨイノモ（キヨウドウ・イッチ）シテグワイテキニアタルカラヂヤ オマヘタチモ三人イッチシテ テラッナギアヒ エライヒトニナリナサイ
エキ「オマヘタチ三人ハ ミナキシツガ チガツテキルガ（キヨウドウイッチ）デユケバ、シユツセスルゾ
三人「ハイ、ヨクワカリマシタ」ソウナカヨク（キヨウドウ、イッチ）デ シユツセスルヨウ ヘゲミマス

變幻黑船往來

第百二十二回

鏑木淸方畫伯上映及上演

(作) 寺島柾史
(畫) 布施長春

溺れぬ人 (七)

西洋渡航を企て、フランス軍艦へ便乘を希つてをつた蘭學者松井白軒としては、まさに意外な一言である。

『はて。それはいかにも日本人らしい一時の感情の昂奮ではあるまいかな』

武七郎の方で、かへつて冷靜にそれを省みた。

『斷じて……』

『しかし、貴殿は、彼のフランス軍艦に好意はあつても、敵視する理由はござるまい。フランス軍艦に便乘して、西洋に渡航したい蘭學者の意見としてはふに落ちかねる』

『いや、そのはなやかな夢から、拙者立派にさめてをる』

『だから、やはり一時の昂奮といふものぢや』

武七郎の言葉には、冷笑さへ含むでゐる。

『ところが、拙者の變心は、けつして貴殿の熱情に動かされたのではない』

白軒は、きつぱりとそれをいつた。

『ほう』

『つい一兩日前より、拙者の思想に大きな變化が參つた。單なる西洋崇拜の痴夢から醒めて、貴殿の主君松平慶永侯の抱懷なさるやうな國防論に、大きに傾いてをる、國防と開國を一元として、日本國の興隆を圖らうとする熱情にもえてゐる、そのこゝろの火の中に、今油を注いだのは、貴殿の愛國の熱血ぢや、一も二もなく同意するのは當然ではないだらうか』

『解せぬ』

武七郎は疑つた。

『何故』

『いま、貴殿は、つい一兩日と申されたが、極端から極端へのその大きな變化が短時日に襲ふたのは、よく／＼の事情からであらう。西洋崇拜者の蘭學者に、昨今よくよくの事情のあらう筈がない。貴殿にしてみれば、それはさいぜんもいふとうり、一時の氣迷ひでござらう』

あつさりとしりぞけた。

『ところが、思想に大きな變化を急激に與へるやうな事情があつたのだ』

『ほう、耳よりな……それを聞かう』

武七郎は、おもはずそれに釣られて一膝乘り出した。

『拙者の思想の大きな變動の端緒は、これなる御老體に出會ふてからである』

白軒は、向合つたまゝ默々と燃火をみつめてゐるカチウド老人へ視線を送つた。

カチウドは、木像のやうに身動きもせぬ。武七郎もチラとそのおを見て、さらに白軒の方へ向き直つた。白軒はそれを受けて、

『これなる御老體はカチウドと申さるゝオロシアの人である』

『なに、オロシア人?』

『いかにも、オロシア人であつてまた日本の人民でもある』

『はて、何か曰くのありさうなその一言、松井氏、差支へなくば御老體のこと、また貴殿が轉心のあらましをお洩し下さらぬか』

武七郎は、カチウド老人と白軒を交に見比べながら、熱心に膝をすゝめる。

『では、おきゝくだされ』

白軒は落着いた調子でカチウド老人に代つてその數奇な身の上を語つたが、最後に、その老人の灼熱の如き愛國心に打たれて西洋の物質文明に眼の眩むでゐる白軒自身が遂に多年の宿望である西洋渡航の熱願を弊履の如くにすて、向後一意御國のために一身を捧げんと決心した眞情をつぶさに吐露するのだつた。